

科目	経営学原理(再履修)	担当	秋山 健太郎	履修学年	2年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	必修	単位数	2単位

【授業目標・到達目標】

近年、日本企業は、グローバル化、CSR経営等多面的で複雑な課題に直面している。本講義では、経営学の基本的な考え方(原理)を習得する。日本企業の諸問題について、自ら考え、現状と将来における課題を整理し、まとめる力を身につけることを到達目標とする。

【履修注意】

- ・講義でWBT(e-text)を活用するため、必ずパソコンを持参する。
- ・自ら進んで意欲と熱意を持って経営学原理を学び、考える習慣を身につけてほしい。
- ・経営学に興味を持つため、新聞、雑誌、ネット等で普段から企業情報にふれてほしい。
- ・経営学の基本的な知識を基礎的な参考書を読むことによって身につけてほしい。

【評価方法】

- ・期末試験と中間まとめの結果を勘案して評価する(期末70%, 中間30%)。
- ・無断で5回以上欠席すると単位はとれない。

【試験について】

- ・期末試験と中間まとめの実施。
- 再試験対象者の条件: 期末試験と中間まとめを受験した卒業年次生を対象者とする。

【予習・復習】

WBTで配信したe-textにより、予習、復習を行う。

【教科書】

- ・購入教科書なし。
- ・WBTで配信するe-textを活用。

【参考書】

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	現代企業を見る視点	企業を見る4つの視点(経済的, 法律的, 組織的, 社会的)
2	現代企業の諸形態	企業の形態とその発展, 私企業と公企業, 公益企業
3	株式会社の原理と発展	企業の歴史的起源とその発展, 経営者支配論, 株主支配論
4	アメリカ企業の企業統治と発展	アメリカ企業の経営と企業統治論の展開, 企業統治改革
5	日本企業の企業統治と発展	日本企業の経営と企業統治論の展開, 企業統治改革
6	日本型経営システム	日本型経営システムの特徴とその展望
7	欧州企業の企業統治と発展	ドイツ, イギリスの経営と企業統治論の展開, 企業統治改革
8	中間まとめ	企業論のまとめと経営管理論学習にあたって
9	企業の社会的責任(CSR)	企業の社会的責任と社会的責任投資, 将来のCSR経営
10	経営管理(経営組織論)	経営管理論の体系, 経営組織の基本と発展形態
11	経営管理(経営組織論)	伝統的組織論, 人間関係論, 近代組織論
12	経営戦略論	経営戦略論の系譜と体系, アンゾフ, PPM
13	経営戦略論	ポーター, バーニー, ミッツバーグの10の学派
14	経営戦略論	技術戦略, マーケティング, 知的財産戦略
15	グローバル経営	経営のグローバル化, 多国籍企業の原理と戦略
16	期末試験	15コマの復習・確認・総まとめ